

もえぎ

第10号

平成28年7月19日
発行

題字 2年2組 中松はづき

国際的な水俣へ

校長 岩本 修一

4月に発生しました熊本地震におきまして、被災された方々にお見舞い申し上げます。本校においては大きな被害はありませんでしたが、余震等に不安を抱えている生徒もおり、今後も生徒一人ひとりに寄り添いながら、教職員一丸となって、心身のケアにつとめて参ります。

さて、本校は今年度、新設校として5年目を迎えます。4月8日に挙行了した入学式では、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、また保護者の皆様方にも参列いただき、感謝申し上げます。全日制159名、定時制5名の新入生には、各学科の特色を生かしながら、これからの未来を背負う人材に育てていきたいと考えております。今年度から本校は文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を受け、6月29日には、水俣市と国立水俣病総合研究センターと協定を結びました。国や市と連携して、グローバルリーダーとなる人材の育成につとめて参ります。

本校は、地域に根ざす「水俣高校」として、保護者や地域の皆様に信頼される学校づくりを推進し、果敢にチャレンジして参ります。本校の教育活動に対して、PTA会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



水俣高校へようこそ

PTA会長 小野 達也

5月19日のPTA総会においてご承認をいただきました、会長の小野達也と申します。

まずは、4月に発生しました熊本地震により犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、新設水俣高等学校としてスタートした本校は5年目を迎えました。もはや新設校ではなく、地域に根ざした学校へと着々と歩んでいるのではないかと感じます。地域に根ざした水俣高校がさらに魅力ある学校となる様に、「水俣高校を選んで良かった!」と思われる学校になる様に、職員の皆様や保護者の皆様と協力し合いながら、取り組んで参りたいと思います。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。



Super Global High School 指定

スーパーグローバルハイスクール（SGH）とは、文部科学省で平成26年度から開始された事業で、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を目的としています。指定校は現在全国に123校、熊本県では本校と済々黉の2校です。

本校では、課題研究と中心とした「水俣ACT I」と、関係諸機関と連携した共同研究や海外研修の「水俣ACT II」の2つのプログラムを通して、本校が目指す「世界が直面する環境問題へ提言・議論するグローバル・リーダー」の育成を図ります。

水俣SGHプログラム

「自然と人間(いのち)の共生」の大切さを共有し、人権感覚あふれる国際社会の成熟を目指すグローバルリーダーへ

水俣act I

「水俣病問題から世界の環境問題に目を向け
グローバルな視点を深化する」

Past MINAMATA (1学年)

「過去の歴史を知る」
・スロベニア・イドリアへのフィールドトリップの準備
・水俣の歴史をフィールドワーク等で研究

Present MINAMATA (2学年)

「現在の課題を学ぶ」
・スロベニア・イドリアへのフィールドトリップの実施
・世界の環境問題へ目を向けた探究活動

Future MINAMATA (3学年)

「未来への提案を探る」
・普通科、商業科、機械科、電気建築システム科のそれぞれの特性に応じた課題研究

Active Learning Discussion

・能動的な学修を行い、論理的・科学的思考を高め課題解決に向けた表現力を養成する。
・英語によるディスカッションやディベートを行い、身につけた能力を有機的に統合する。

水俣act II

「現在も深刻化する水銀問題に対し
能動的提言ができるような能力を育成する」

・水俣環境アカデミアや国水研等の研究機関、大学、行政、企業、NPOとの連携・研究
・ESD生徒リーダー研修(シンガポール・スロベニア等)
・慶応大や東京大留学生、JICA研究生とのディスカッション

成果・検証

・高校生・留学生国際環境フォーラムの開催
・台湾修学旅行を通じて異言語コミュニケーションの実践
・事業効果を最大限にいかす評価・検証委員会の設置

Go Minamata High School!

アメリカ環境保護庁マッカーシー長官来校

5月17日、校内巡回しながら生徒・職員から環境美化活動を説明したり、環境に関して英語で質疑応答を行ったりしました。マッカーシー長官は、大気や水に国境はなく地球の未来の為には世界の協力が重要であり、本校の環境美化活動は尊い活動であると仰られ、次世代を担う高校生達へ“Go Minamata High School”と何度も熱いメッセージをいただきました。生涯の思い出に残る貴重な経験となりました。



熊本地震を乗り越えて

水俣高校体育大会



Just do it! ~今この瞬間を全力で挑め~

平成28年5月8日(日)

ひしと伝わり、一致団結する力は水高生の宝だと思えます。そして保護者の皆さま、地域の方々、先生方、お忙しい中、私たちを見守っていただきありがとうございます。2学期・3学期とまだまだ行事も多いですが、これからも見守っていただくと幸いです。



演舞の部優勝、総合優勝



青団 団長 川添夢地
今年の体育大会は地震の影響もあり、練習時間が少なく、当日までに間に合わせる事ができるのかと、大変焦りがありました。しかし、一人一人が集中して取り組むことで、間に合わせる事ができました。そして、演舞の部と総合優勝の二冠を取ることができたのでとてもうれしかったです。応援してくださいました。大変ありがとうございました。

生徒会長 松本耕四郎

今回は、体育大会を終えて考えたことは、無事に成功を収めることができてよかったということです。今年の体育大会は、練習の日程も短く、体育大会自体の時間も縮小されてしまい、例年とは違う点が多くて困惑している生徒の方々も多いという印象でした。しかし、本番を迎えると、皆が良い体育大会にしようという意気込んでいるのがひし



黄団 団長 林田京将
こんにちは。黄団団長を務めさせていただきます。今回は林田京将です。私は今回の体育大会で、人を動かすことの大変さを実感しました。その経験は、私にとって様々な面で大きな自信へと繋がりました。本当にやってよかったです。最後に保護者の皆様、お足元の悪い中、水俣高校体育大会にお越しいただき、ありがとうございました。



赤団 団長 久村健斗
みなさん体育大会お疲れ様でした。僕は、団長をすることが決まったときに、自分でいいのかと不安になりました。しかし、リーダー全員が協力して赤団をまとめてくれました。今回の体育大会はとても特別なものでした。熊本地震の影響で、体育大会ができない学校もあったなか、水俣高校は体育大会ができたことありがとうございます。がんばろう熊本。

